



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

2 梅が咲いたら
2月号

福玉便り

2015年2月1日(日)発行

ふ く た ま だ よ り

通巻 第33号

発行『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部
編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉メール:fukutama@431279.com
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731
印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

埼玉県上尾市シラコバト団地被災者の会ひまわりによる 東日本大震災追悼式

東日本大震災から四度目の黙祷の会を開催します。同じ思いを持つ方々のご参会を賜りますようご案内申し上げます。



2015年3月11日(水)

- 14:00第一部「黙祷の会」
 - 15:00第二部「語らいの集い」
- ※粗宴の用意をしております。

場所:第一部 シラコバト 団地ぞうさん公園
第二部 シラコバト 団地第一集会室
※雨天の場合、双方共第一集会室

交通:JR高崎線桶川駅より徒歩20分
北上尾駅より徒歩15分

住所:上尾市大字上370番地※団地内駐車場有

主催:東日本大震災に咲く会 ひまわり

問合せ:シラコバト団地自治会 048-607-6723
橘(タチバナ)080-3091-6215

NHK FMさいたまに『福玉便りコーナー』が登場

毎月第4火曜日 午後6時～午後7時



NHKさいたま放送局の「日刊さいたま～ず(FM85.1)」で毎月第4火曜日に「埼玉(に避難されている皆さん)と福島県をむすぶ番組=福玉便り」が放送されることになりました。福玉便りに掲載された話題、福玉ネットワークで開催されるイベントについて取り上げる予定です。



☆第1回放送は1月27日(火) 午後6時～午後7時の間の「生放送」です。第2回放送は、2月24日(火)の予定です。

第2回大熊町民交流サロンを開催します。

2月13日(金) 午前11時～午後2時頃

大熊町民のみなさんへお知らせです。内容は、昼食会と「しゃべりば」です。ぜひ皆さんでご参加下さい。



会場:コーププラザ川越(川越市・JR川越駅、東武川越駅)

共催:福玉便り編集委員会&大熊町関東事務所

連絡先:労福協 TEL048-833-8731

第13回 つながる・ひろがる・未来をつくる
With You さいたま フェスティバル 2月6日(金) 7日(土) 8日(日)

男女共同参画を学び、仲情と交流する3日版。発表や展示がいろいろ!

ぜひこの機会をクリップしてください!

2月6日-8日開催!

「つながる・ひろがる・未来をつくる」をテーマに県内の男女共同参画54団体が勢ぞろいし、活動や研究成果を発表します。「さいがいつながりカフェ」では、「パネル展示」(3日間)と交流の場を7日10:00～12:00に開催します。ぜひお越しください。



主催:埼玉県男女共同参画推進センター(With You さいたま)、フェスティバル実行委員会048-601-3111

浪江のしゃべりばin越谷を開催します。

2月21日(土) 午後1時



- 会場:コーププラザ越谷(越谷市)
- ①タブレット(浪江町版)の概要と操作方法説明
 - ②甲状腺検査に関する説明
 - ③町民の交流サロン を予定

主催・申込み:浪江町復興支援員埼玉事務所
TEL080-5749-2996まで!

ぽろろん♪ クリスマスの時間レポート



2014年12月23日、With Youさいたまにて、「ぽろろん♪クリスマス時間」が開催され、親子約35人が参加しました。午前中は、公益財団法人OISCA(オイスカ)さんによる、つみ木のワークショップを行いました。

赤いじゅうたんの上に、寝転んで目をつぶると、スタッフのみなさんから、つみ木がやさしくかぶせられます。つみ木というと、ゴツゴツしているイメージですが、優しくして軽い感触。さわやかな香りを感じながら目をあけると、かわいらしい手作りのつみ木が自分のまわりにたくさん散りばめられています。目をあけた子どもたちの顔は、いっぺんにキラキラ輝きます。

「好きなものを作っていいよ」という声を合図に、みな、一斉につみ木に手を伸ばします。子どもたちはほとんどつみ木を積んでいくのですが、オトナは一瞬、戸惑います。「何を作るの?」「どうやってやるの?」「見本あるかな」……それでも、やりはじめると、子どもも大人も真剣。静かな時間が流れます。



ただひたすら積む、という作業に没頭しだす人、高速道路のETCゲートを作る人、何を思っか祭壇を作りだす人、動物園を作る子ども、街を作る子どもの横で、巨大なドラえもんを作る人、高さを隣の人と競う人……あらゆる世界が繰り広げられていて、ふと手をとめて周りを見回すだけでも、楽しくなっています。



円形劇場のような素敵な建築物を作っていた男のお母さんは「こんな風に集中するんだ……知らなかった」と驚きます。

「募集しています」
「ご近所付き合いはどうしていますか?」「住宅支援が打ち切られたらどうしますか?」というテーマで、「声」を募集しています。「お手紙ですよ♪ぽろろんの2号に掲載させていただきますので(匿名可です)、ぜひ、お寄せください。」

【送ります】
「お手紙ですよ♪ぽろろん」の第1号が完成しました。原則として区域外避難中の方、あるいは、その支援団体の方に1部~100部までお送りいたしますので、ご連絡ください。

ながら見守っていましたが、つみ木遊びのあとは、「間伐」についての紙芝居をしていただきました。普段、気にかけていない日本の森林や国産材について、考える時間にもなりました。



この日は、「はじめてこういう会に参加します」という親子が2組いらっしゃいました。そんな、新しい出会いもうれしい、楽しいクリスマス時間になりました。

(編集部・吉田)

昨年の9月13日・10月11日・11月15日に、福玉編集部・原田が立教大学で担当するゼミの学生たちが、新座さいがいつなりカフェにお邪魔させていただきました。3人の方にお話を聞かせていただきましたので、ご紹介いたします。

鶴見さん

(双葉町から新座市に避難)

よそに行くような考えは全然なく、仕事に行くような支度で着の身着のまま避難してきましたよ。3

日くらいですぐに戻れると思って。

家内が8年前の2月に脑梗塞で倒れてから、体は不自由だし、何したって車いす。「突然具合が悪くなっ

ろ考えて眠れない時もありましたよ。

震災がなけりやこんなことも考えないで済んだのに。田舎なら気さくに会いに行ったり、何の用がなくても家を訪れられる。付き合いってのは1番だな。今まで家族みんなでしたから、また家族みんなで住みたいです。

渡辺さん

(双葉町から新座市に避難)

た場合はどうしよう」という気持ちには夜も頭紙を書いてぶら下げておくんですよ。自分でいっどこでどうなるかわからないから、自分がなった場合はどうしたらいいか？いろいろ

震災の2、3日前に同居していたおばあさんを亡くし、お通夜やお葬式で忙しくしていた頃に震災が起きました。もうパニックでした。私の家は、福島第一原発から3・1キロの場所です。避難はいち早くすることができましたが、着の身着のままであったため車にガソリンを入れること1つをとっても困難でした。最初は近くの公民館へ避難、その後はほとんど原発から離れるように避難しました。そして妹を頼りに避難し最終的に埼玉へ避難

しました。

避難に伴い、故郷の双葉町とのつながりはどうしても希薄になっています。震災前は4、5人の友人と頻りに会っていましたが、今は買い物に行っても知ってる人が全然いません。だから、相馬流山踊りで双葉町の方々に会った際は、本当にホッとしました。今後も故郷とのつながりを持ち続けるために、双葉町の方々と集まれる機会がほしいです。

白田さん

(福島市から新座市に避難)

福島市で被災し、娘がいる新座市に避難しました。震災当初は、衣料品に困っていたところ、NPO団体の方が衣料品等を持ってきてくださり、支援してもらっていました。現在は、新座さいがいつなりカフェに参加しています。月に1回、皆さんに会えたり、情報を教えてもらったりして、毎回楽しく参加しています。

1人暮らしで生活して

ると人に数日会わないことがあって、それではだめだと思い、昨年からは新座の栄にある「すこやか広場」というところに通い始めました。そこではお茶を飲んだり、お話ししたりしています。最初は定期的には行っていなかったので、行きたい気持ちが強くなり、だんだんと行く回数も増えていきました。通っていく中で、折り紙を始めようになり、本を借りてやったり、周りから教えてもらったりして10か月くらい折り紙を楽しんでいます。それから、今度はビーズ手芸を始めようになっています。でも、近い将来(今年か来年か)、住居の問題を決めなくてはと思っています。

でも、近い将来(今年か来年か)、住居の問題を決めなくてはと思っています。

(聞き手・立教大学コミュニケーション福祉学部3年 青木花奈実、長菜摘美、村瀬可奈)



新座さいがいつなりカフェ参加者の皆さん(12月撮影)



ふくしま避難者交流会

1月12日、有楽町の東京国際フォーラムにて福島県主催の避難者交流会が開催されました。

当日、別会場でのふくしま大

交流フェアでは内堀知事とマラソンランナー有森裕子さんの対談やフラガールショー、福島県内各市町村の展示や相談、名産品の物販手作り体験、ラーメン・焼きそば・おまんじゅうなどの食品の提供などが行われ、午前中そちらの様子を見て、午後からは交流会へ参加という方もいらしたようです。

避難者交流会会場では原田直之さんの民謡、福島県知事の挨拶がありました。専門ブースでは住宅や除染の相談、こころ

の相談などを受ける方、順番待ちの間には6人がけのテーブル席で避難者の方とお話したりと、3時間ほどの短い

間でしたがたくさんの方にぎわいました。

会場内にももう一つ、ま

まカフェ@TOKYOの部屋が設けられました。こどもたちが、「楽つみ木」のワークシヨップや、都内の子育て支援団体が用意した手作りの玩具などで遊んでいる間、ママやパパは甲状腺の勉強会や、賠償相談会に参加したり、ゆっくりお茶を飲みながら情報交換をしたりしていました。

「避難者支援担当課の職員さんが家に来てくれて、今日の会に誘ってもらったのできてみました」という方もいました。しかし、一方では、「福島まで戻る交通費がたいへんなので、内でも健康検査が受けられるようにしてほしい」「気兼ねなく話ができる場所がほしい」などの声も聞かれ、まだまだ情報が届かず孤立している状況があることがうかがえました。また「パパの転勤で都内に来たが、定期的に福島にある家に風を入れに行ったり毎日忙しくてこちらには友だちがいない。福島では広い庭があるので公園で遊ぶという発想がなかったが、こどもを遊ばせる場所の情報欲が欲しい。また福島に戻



たときの進学のことにも気になる。」という声も聞かれました。福島県内や避難地域でまカフェ@を運営するこどもも支援センターでは現在、東京の避難者交流や子育て拠点の情報を掲載した紙版マップの完成を急いでいます。今のところ、インターネットでは「ふくしま

「キッズビジネスタウンいちかわ」

今年で10回目になる本催事は、募集を始めるとすぐに定員になってしまう人気のイベントです。「キッズニア」のようにこどもはまずハローワークで仕事を探し、いろいろな仕事をします。その対価が通貨で支払われ、税金を納めたり買い物をしたりするなど、楽しみながら職業体験をし、金銭感覚を身につけることができます。今回、避難されているお子さん50名のご招待枠を設けてくださいました。

日時：3月7・8日（土・日）10時～16時（雨天決行）
会場：千葉商科大学（千葉市市川市国府台1-3-1、総武線市川駅からバス10分ほど）
対象者：小学生および、幼児
定員：土曜日50人、日曜日50人（避難者ご招待）
参加費：無料

参加申し込み方法：往復はがきに以下の内容を箇条書きにしてお送りください。

1枚のはがきで1名様のお申込みになります。先着順で定員になり次第受付を終了します。（申し込み締切1/31）。往復はがき裏面に下記をご記入いただき、千葉商科大学「キッズビジネスタウンいちかわ」宛お送りください。

- 参加児童・幼児のお名前（ふりがなをお書きください）
- 参加希望日：3月7日、8日のいずれか
- 学校名または幼稚園名
- 学年
- 住所
- 連絡が取れる保護者の方の電話番号（携帯可）
- 大学からの情報を希望する場合は、保護者の方のお名前

内閣府原子力被災者支援チームと中学生・高校生のティータイム

2014年12月6日、子どもたち3名と、内閣府・文科省の官僚の座談会が開催されました（主催：鴻巣〈想い〉）。「お茶会」だから大丈夫かな…とあって来ました」と、最初は緊張気味だった子どもたちも、時間が経つにつれてほぐれ、震災からの自分の歩みや、いまの気持ちなどを話し合いました。

いま頑張っていること、県内避難と県外避難の違い、友人との付き合い方、放射線の話、故郷の話、子どもからみる「街づくりの話」——その日のぼった話題はさまざまです。

内閣府の井上博雄さんと文科省の市村桃子さんからは、現在県内で開催されている〈子ども未来会議〉を〈県外（埼玉県）で実現しよう〉という提案もあり、子どもたちも喜んでいました。

避難についての思い、故郷への思いなど、真面目なテーマだけではなく、「ゆとりは」とか「いまの子どもは」と言われるとむかつきます」といった、日常的な思いまで、子どもたちの本音を話してくれました。

子ども同士の思いをつなぐ場が、また生まれればいいな、と感じた一日でした。（編集部・吉田）

避難住宅を考える⑧ 現状はどうなっているの？福島県編

現在、「平成28年3月まで」とされている、応急仮設住宅について、いくつかの団体が署名運動や政府交渉を行い、「供与期間の延長」「住み替え」「複数年の供与期間通知」「新規受け入れ」等を求めています。「災害救助法の枠内では原子力災害には対応できない」という主張もあり、新たな立法措置を求める運動もあります。

とくに区域外避難（自主避難）の方たちにとっては、賠償の

ない中、住宅支援が唯一の経済支援であり、「応急仮設住宅の供与が打ち切られたら本格的に露頭に迷う」という声も多く聞かれます。

その応急仮設住宅の供与期間は、福島県に開示請求した協議録によると、避難指示区域の方々の、復興公営住宅の入居状況および住居確保状況に運動すると書かれています。

簡単に言うと、「借上住宅は、避難指示区域の方々の次の住ま

借上住宅供与期間		平成28年3月	?
	今、決定している政策等	借上げ住宅が終わった場合	
避難指示区域外 (自主避難または解除済) 約1万世帯	①公営住宅の入居要件緩和 母子・父子世帯に限り収入要件2分の1 居住実績証明書の発行(浜通り・中通りの36市町村) ※全員が利用できる制度ではないうえに、入居できるか不明	①公営住宅 (入居できるか不明 / 提供自治体ごとに差) ②自費で家賃負担 ③①or②が叶わない場合は帰還せざるを得ない方も	
避難指示区域(未解除) 約4万世帯	①復興公営住宅 (家賃は賠償対象) 福島県営/福島県内市町村営 現在建設中 合計: 8123戸	①復興公営住宅に応募し抽選に当たれば入居可能。 (平成28年3月時点では避難世帯の約2割に該当する8123戸のみが入居可能)	
	②賠償(自宅購入/部屋を借りる) ※宅地の賠償が始まっていて、家の購入を検討する方も ※住宅確保給付金対象区域かつ、賃貸住宅に住んでいた人は、住み替えスタートから8年間家賃賠償がある (スタート時期の制限はない)	②賠償で対応 (自宅購入/賃貸契約等)	

合計: 8123戸 の内訳

※復興公営住宅は4890戸建設予定。12市町村への意向調査(50%回答)から決定した軒数。うち、H28.3末までに**3700戸**

「原子力被災自治体」田村市・南相馬市・川俣町・広野町・楮葉町
富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村

※市町村整備分=津波・地震対応
復興公営住宅→2719戸建設予定。うち、H28.3末までに**2423戸**
面整備民間住宅用地→2075戸。うち、H28.3末までに**2000戸**

いが決まっていくな状況と運動して、打ち切られる可能性が高い」ということです。

昨年5月に決まった応急仮設住宅の供与期間の延長では、会津5町村は延長の対象になっていません。避難者がいなくなつたから、とされていますが、「今度の応急仮設住宅の供与期間の発表では、延長しない地域を広げるのではないかと不安に感じている方もいます。」

しかし、原子力災害は、へ土地が放射性物質で広く汚染されてしまふ」という、自然災害とはまったく違った、先のみえない状況があるので、過去の災害での住宅供与モデル——たとえば、「阪神淡路大震災は5年間だった」等はどうして当てはめられるものではありません。

また、「住まい」は、そこに住む人の「命」「人生」に直結します。放射線量だけで杓子定規に切り捨てる問題ではありません。

今後、住宅問題について、注意深く見守っていききたいと思えます。

「避難住居を考えるにあたり、現在どのような政策があるのか」ということを整理するために、図を作りました。参考までに、ご覧ください。

(編集部・吉田)

東日本大震災事業 ～3・11を忘れないために 自分ができること～

●シリーズ1

「和光3・11つながりカフェ」

日時: 3月14日(土)10:00～15:00(9:30開場)

内容/【第一部】3・11有志合奏団、宮城県亘理町「震災語り部の会」

【昼食交流会】自衛隊体育学校の紹介「東京オリンピックを目指して」等

【第二部】表現者たちのふくしま

映画監督:佐藤武光さん&カメラマン:高木成幸さん、詩人:宮尾節子さん&歌人三原由起子さん、みどりのそよ風児童合唱団、コスモス会(成増団地避難者)
※東北物産品販売、啓発ブースあり。

(ホワイエはチケットなしでも入場可)
場所/サンアゼリア小ホール
定員/先着100名
申込/1月7日(水)からチケット(無料)配布。先着順。電話、FAXはEメールで。住所、氏名、年齢、性別、職業を記入。チケット郵送不可。

●シリーズ2

石巻からオケと合唱団がやってくるー「和光3・11を忘れない」コンサート

日時: 3月14日(土)17:00～19:00(16:30開場)

内容/宮城県最古のアマチュアオーケストラ『石巻市民交響楽団』と石巻・女川の合唱団100人と首都圏のオーケストラ・合唱団のボランティア400人が「犠牲者追悼復興祈念」の大演奏等。

場所/サンアゼリア大ホール
定員/1,200名
費用/チケット一般1000円、学生500円
申込/1月よりボランティアセンター、サンアゼリアチケット売り場等
問合/和光3・11を忘れない実行委員会事務局 Tel:090-5793-3800 duke-s@kd6.so-net.ne.jp

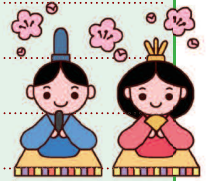
●シリーズ3

被災地写真展「被災地の今」

日時: 3月12日(木)～3月14日(土)初回は午後、その他9:00～17:00

場所/サンアゼリア 展示ホール
費用/無料

連絡先:和光市社会福祉協議会 ボランティアセンター Tel:048-452-7606



1日(日)	
2日(月)	
3日(火)	
4日(水)	
5日(木)	3
6日(金)	21
7日(土)	5 8 6
8日(日)	
9日(月)	
10日(火)	
11日(水)	8 7
12日(木)	17 19
13日(金)	21
14日(土)	16 23
15日(日)	9 15 27
16日(月)	
17日(火)	
18日(水)	
19日(木)	2 14 18
20日(金)	21
21日(土)	5 18
22日(日)	6 25
23日(月)	0
24日(火)	
25日(水)	12
26日(木)	19
27日(金)	21
28日(土)	9
29日(日)	
30日(月)	
31日(火)	

5 加須の冒険遊び場 かぞびば
2月7日,21日,3月7日,21日(土)
親子で外遊びマスター講座
焚き火・木登り・水遊び...自然遊びで心と体を丈夫にしよう。
毎月第1,3土曜日 10:00~15:00
騎西中央公園
加須市 ☎ 080-6721-6858 (谷居さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
2月7日(土),3月7日(土) 会合
10:00~12:00
3月11日(水) 14:00~追悼式
毎月第1土曜日 10:00~12:00
シラコバト団地第一集会所 上尾市
☎ 048-607-6723 (団地自治会事務所)
☎ 080-3091-6215 (橘さん)

12 お茶っこふるさと会
2月25日,3月25日(水)
定例サロン
毎月第4週の水曜日 10:00~12:00
ネット21 久喜事務所
久喜市本町 2-1-59
☎ 090-6855-7140 (木幡さん)

15 ひだまり広場
2月15日,3月15日(日)
月1回 参加費無料 12:30~16:00
ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
☎ 090-2433-6057 (廣瀬さん)

16 越谷避難者の会
2月14日,3月14日(土)11:00~
コーププラザ越谷 越谷市
☎ 090-9425-2001 (石上さん)

22 浪江のしゃべり場 浦和の8畳間
浪江町の復興支援員が常駐しています。お気軽に遊びに来てください。
月曜日~金曜日 10:00~17:00
浪江町復興支援員 埼玉事務所
さいたま市
☎ 048-833-8731 (埼玉労福協)

28 ここカフェ@川越
2月28日(土)鶴ヶ島市民活動センター
心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。
毎月1回 10:00~15:00
☎ 070-5080-4494 (鈴木さん)

4 寄り添いステーション ころっせ くわっせ双葉
2月21日(土)13:00~フタバ歌う会
各種イベント、マッサージ、手作り品、地元の野菜などのコーナーがあります。
不定休 13:00~
寄り添いステーション騎西
加須市正能 11-5 ☎ 090-1650-2874 (富沢さん)

7 向原団地被災者の会
2月14日(土)
(^^)つながりましょう!
毎月第2土曜日 18:00~
向原団地集会所
上尾市 ☎ 080-6044-2922 (富永さん)

11 羽生つながりカフェ
2月は休会します。
ゆっくりお茶を飲みながらお話しませんか?
毎月第2日曜日 13:00~15:00
パープル羽生 和室
羽生市 ☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

14 春日部 つながりカフェ
2月19日(木)3F 第1会議室
3月19日(木)2F 第1会議室
法律家による相談対応可能
毎月1回 13:30~16:00
コーププラザ春日部
☎ 048-829-7400 (SSN)

21 梨の実スペース
大熊町コミュニティ支援関東事務所
大熊町出身の復興支援員もお待ちしていますのでぜひ遊びにきてください!金曜日以外にお越しの際は、事前にご連絡ください。
毎週金曜日 10:00~16:00
大熊町コミュニティ支援関東事務所
さいたま市浦和区仲町 2-15-4
☎ 048-711-7135

27 おあがんなんしよ
2月15日(日) ランチと歓談
北の台所(スクランブル交差点近く)
3月15日(日) 定例サロン
(1年間の振り返り) フクトピア
月1回
ふじみ野市
☎ 090-5345-8408 (松館さん)

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがいつながりカフェ
2月12日(木)3月5日(木)
定例サロン
月1回 9:30~11:30
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

6 負けねっちゃきり
3月22日(日) 10:30~
飾り巻き寿司で古典巻き
伊奈町 ☎ 090-7244-9267 (高橋さん)

9 "想い"
3月15日(日) 10:30~
いちご狩りをしに吉見町へ行こう
鴻巣市 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん)

10 ふるさと交流サロン
11:00~14:00
コープみらいコープ熊谷店メイト室
熊谷市 ☎ 080-3145-1426 (高橋さん)

こちらのサイトにも情報があります。
http://431279.com
(SSN:震災支援ネットワーク埼玉)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
2月5日,12日,19日,26日
定例サロン
毎週木曜日 13:30~15:30
国家公務員宿舎杉戸住宅(つつじの里サロン)杉戸住宅 6-301
☎ 0480-33-3455 (佐藤さん)

20 つながろう!放射能から避難したママネット@埼玉
自主避難の親子のサロンです。
bjjskr146@yahoo.co.jp (木村さん)

26 お茶のみ交流会
市内に避難してきた方々の「お茶のみ交流会」を2か月に1回のペースで実施中。
隔月1回 10:00~12:30
ふじみ野交流センター2階視聴覚室
富士見市
☎ 049-251-2711 (富士見市安心安全課)

1 2月6(金)~8日(日) 10:00~ (詳細 1p) **口頭弁論** (詳細 8p) ☎ 048-960-0591 (みさと法律事務所) 14:00~ぞうさん公園 ☎ 080-3091-6215 (ひまわり・橘)

2 2月8(日) ふくしまココロとカラダの健康相談会 10:30~江東区亀戸7-10-1 Zビル4階

3 2月13日(金) 大熊町民交流サロン (詳細 1p)

4 2月18日(水) 福島原発さいたま訴訟 第4回

5 2月21(金) 浪江のしゃべり場 in 越谷 (詳細 1p) ☎ 080-5749-2996 (浪江町復興支援員埼玉事務所)

6 3月7日(土) ままカフェ@ TOKYO (詳細 4p) 千葉商科大学 詳細調整中 ☎ 080-6721-6858 (谷居)

7 3月11日(水) 東日本大震災追悼式 (詳細 1p) http://fukusaishien.com/ (詳細 8p)

8 3月12(木)~14日(土) (詳細 5p) 「被災地の今」写真展 サンアゼリア 14日(土) 3・11を忘れないために自分ができること「和光3・11を忘れない」コンサート ☎ 090-5793-3800 duke-s@kd6.so-net.ne.jp (事務局)

9 3月28日(土) 「日本と原発」市民会館うらわ

PICK UP

東北・福島→埼玉=福の玉 が生まれ、
ゆっくりふくらんでいきまそうよに...

福玉

ふく たま

マップ&カレンダー

1 双葉町民によるボランティアカフェ
2月12日(木) 手作り味噌
双葉町民によるスタッフが
お待ちしております。
月1回 10:00~15:00
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市駒西 501-13 ☎ 048-829-7400(SSN)

2 社協と地域と生協のサロン
味噌汁とおにぎり地域の方々
との情報交換の場をつくって
います。お気軽にお越しください。
毎月第3木曜日 10:00~15:00
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市駒西 501-13

2月

1日(日)
2日(月)
3日(火)
4日(水)
5日(木) **13**
6日(金) **21**
7日(土) **5 8 19**
8日(日) **2**
9日(月)
10日(火)
11日(水)
12日(木) **1 3 13 17**
13日(金) **21 3**
14日(土) **7 16 24**
15日(日) **15 27**
16日(月)
17日(火)
18日(水) **4**
19日(木) **2 13 14 18**
20日(金) **21 32 0**
21日(土) **4 5 6**
22日(日) **25**
23日(月)
24日(火) ●
25日(水) **12**
26日(木) **13 19**
27日(金) **21**
28日(土) **28**



17 つながりの会
2月12日(木)
東北復興支援販売
毎月第2木曜日 10:30~16:30
物産・観光情報センター
(草加駅西口徒歩1分) 草加市高砂 1-1-1
☎ 048-932-6770 (草加市社協 地域福祉担当)

18 ひまわりの会
2月19日, 3月19日(木)
おしゃべりサロンと楽しい企画
毎月第2木曜日 10:00~15:00
やすらぎ会館 (川口市社会福祉協議会)
川口市南鳩ヶ谷 6-8-16
☎ 080-5431-0123 (島田さん)

19 さいがい・つながりカフェ
2月7日(土) 10:00~12:00
第13回 WithYou フェスティバル
2月26日, 3月12日, 26日(木)
月2回木曜日 11:00~15:00
With You さいたま 4F 和室
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
☎ 048-601-3111 さいがいつながりカフェ

23 和光3・11 つながりカフェ
3月12日(木)~14日(土) 写真展
14日(土) 和光3・11つながりカフェ
「和光3・11を忘れない」コンサート
和光市社会福祉協議会 ☎ 048-452-7606

24 新座さいがい つながりカフェ
2月14日(土) 定例サロン
月1回 土曜日 13:00~16:00
国家公務員宿舎 集会室
新座市 ☎ 090-2402-9155 (谷森さん)
☎ 080-6023-2799 (福地さん)

25 青空あおぞら
2月22日(日) IF 料理講習室 3月22日(日)
お子様連れのパパママもお気軽に
にご参加ください。(保育付き)
法律家による相談対応可能。
毎月第4日曜日 13:30~16:00
新所沢公民館
所沢市 ☎ 048-829-7400 (SSN)

29 鳩のつどい
月2回 10:00~12:00
JAXA 鳩山宿舎 108号 鳩山町
☎ 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)

31 相双ふるさとネットワーク
<http://namieimonikai.com/>

30 きずなの会
毎月交流会を行なっています。
雇用促進住宅 東松山市

32 福玉・謡曲の会
調整中
10:30~12:00 With You さいたま
☎ 080-5532-7380 (薄井さん)

0 福玉便り発送
2月20日(金), 3月23日(月)
13:30~
おしゃべりにきてくださいわ。
福玉便り
お送りします。
ご希望の方には、
本紙を郵送でお送りします。

福玉 募金
ご協力ありがとうございます。
本誌に関するご連絡はこちらまで

『福玉便り』編集委員会
連絡先: (一社) 埼玉労働者福祉協議会
電話 048-833-8731
メール: fukutama@431279.com

福島県復興支援員さんをご紹介します

昨年11月から、福島県の復興支援員事業が始まり4名の方が埼玉に配置されました。みなさんとお顔を合わせる機会が多くなると思っていますので、ご紹介いたします。

富永まゆみさん

白河市↓上尾市

復興を支援するといふ思いではなく、ご用聞きのもりです。私は何世代さかのぼっても福島県人です。故郷を追われて新しい土地で一生懸命にがんばっている人達の話に聞きに行き、現在置かれている状況や、抱えている悩み事を聞いて差し上げたいです。そして少しでも心に温かさを感じて頂ける一助になれば良いと思います。



ていませ高橋です。現在は、両親は埼玉県深谷市に、私は、熊谷市に、妻と子供2人の4人で避難しています。埼玉県には、福島県避難者が5,000人以上います。福島県避難者と、福島県行政、地元行政相互間の一助になるよう活動して参りますので、宜しくお願ひします。



若尾明子さん

埼玉県在住

埼玉での暮らしがハッピーになるようお手伝いできればと思います。

サロンでのおしゃべりなど

楽しんで

みんでいます。

どうぞよろしくお願



いします。趣味はけん玉、クッキーとりんごが大好きです。

塚原恵理子さん

埼玉県在住

東日本大震災という自分の一生がひっくり返るといふ経験をされた方々に何ができるか



かかりませんが、少しでも信頼して頂けるよう、一緒に前向きになつて頂けるよう、一歩一歩お手伝いさせて頂けたらいいなと思います。

■福島県復興支援員 埼玉事務所

平日9:00~17:00(さいたま市浦和区常盤6-4-21ときわ会館4F) TEL:048-814-1111/080-8764-7927 FAX:048-814-1112

※事務所不在の場合は留守番電話にメッセージを残してください。折り返しご連絡いたします。
※この事業は、福島県が(一社)埼玉県労働者福祉協議会に委託して実施しています。

富岡町復興支援員埼玉事務所が開設されました。

富岡町は1月20日に「富岡町復興支援員埼玉事務所(復興支援員は4名)」を開所しました。事務所は埼玉労福協事務所がある、ときわ会館に設置され、埼玉県を中心に首都圏での「戸別訪問」を行います。同時に、富岡町民が多く避難している自治体で「交流サロンやしゃべり場」を開催します。



■映画「日本と原発」上映会

【日時】3月28日(土) 【会場】市民会館うらわ ホール
【内容】弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘う木村結の3人が多くの関係者、有識者にインタビュー取材を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に事故に巻き込まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、改善されない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュメンタリー映画です。上映会の詳細については、<http://fukusaishien.com/> 等でご案内します。
【問合せ】福島原発さいたま訴訟を支援する会 apply@fukusaishien.com



■福島原発さいたま訴訟 第4回口頭弁論・報告集会・懇親会

【日時】2月18日(水)14:30~口頭弁論 終了後・報告集会・懇親会
【会場】口頭弁論:さいたま地方裁判所101号法廷/報告集会・懇親会:埼玉総合法律事務所3階 会議室(埼玉県さいたま市浦和区岸町7-12-1)
【内容】弁護団では、この訴訟が、全国にいる本件事故の被害者に対する救済と、国や電気事業者が押し進めようとする安易な原子力政策を見直す契機になればと考え、勝訴に向けて一丸となって進んでいくことを決意しています。ぜひ傍聴にお越しください。訴訟に興味のある方、損害賠償手続でお困りの方は、是非ご参加下さい。【参考HP】<http://fukusaishien.com/>
【問合せ】原発事故責任追及訴訟埼玉弁護団 事務局 吉廣慶子(みさと法律事務所) 電話:048-960-0591 Fax:048-960-0592

福玉便りのお届け作業と一緒にやっく下さる方、大募集

2月20日(金)13:30-16:00ごろ
可能なお時間で。場所:埼玉労福協

たまたま時間あいてるよ、という方が、いらっしやいましたら、ご連絡おまちしています。A市のTさんが来てくださると、話がばかばかしくて手が止まることもあつたかないとか…労福協048-833-8731まで。



●福玉募金の送金はこちらへ

郵便振替口座▶ 00160-0-291210
銀行▶中央労働金庫さいたま支店普通預金 6600705

問い合わせ▶認定NPO法人ハンズオン!埼玉 TEL048-834-2052

※寄付金には税制優遇措置があります。

ありがとうございます!

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様にも全面的にご協力いただいております。



ありがとうございます!

「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいて、発行しています。

